

校長室だより



真岡東中 校長室だより

No. 19

2017/10/12/Thu

県新人大会前日 東日本吹奏楽大会まであと2日

ひがし野祭まであと16日 国際防災の日

コロンブス新大陸発見 1492年

俳人松尾芭蕉没、50歳 1694年

浅沼稻次郎刺殺さる、62歳 1960年

チームひがし…生徒・教職員・家庭へ向けての校長通信

明日10/13(金)～14(土)…大きな舞台での活躍を！

明日から「県新人各種大会」が始まる！

明後日は「東日本吹奏楽大会」が宇都宮で！

◆県新人各種大会◆

- ・ 13日(金)：陸上競技 (栃木市運動公園)
卓球男子団体 (県総合運動公園)
- ・ 14日(土)：剣道個人 (栃木県北体育館)
卓球男子個人 (県総合運動公園)
バドミントン (河内体育館)

◆東日本吹奏楽大会◆

- ・ 14日(土)：宇都宮市文化会館

明日から県新人各種大会が始まります。学校の代表と同時に、芳賀地区代表でもあります。ベストを尽くして頑張ってきてください。活躍を期待しています。

また、明後日は東日本吹奏楽大会です。2年連続で全国の舞台に立ちます。昨年より更に輝く色の賞を目指して練習に励んできました。聴衆をうならせるすばらしい演奏を期待しています。

テストの復習をして初めて「テストが終わる」と信じる

中間テストが終わってホッとしていませんか？今週は答案用紙が返されて、その結果に一喜一憂した生徒もいることでしょう。教室からは次のような声が聞こえてきました。「やったあ！」「よっしゃあ！」「あ～あ…」「今度こそがんばるぞ！」「またか…」「今日から一生懸命勉強しよう！」etc. 各々が様々な思いを持って、答案用紙を見つめたことでしょう。その思いが次の学習への「意欲」へとつながれば学力は伸びてくるものなのです。さて、学校でテストをする主な理由は次のようなことからです。

- ①限られた範囲を勉強することで目標を持って学習に取り組む習慣をつけるため
- ②自分の弱点(間違えたり理解できなかったりした問題など)を知るため
- ③授業が分かる、内容が理解できるから「学力を定着させる」ため

以上のことから、返された答案用紙を見て、特に間違えた問題を復習しなければ本当に「テストが終わった」とは言えないということです。「記憶力と復習」について1学期の朝会で講話をしましたが、それを生かしていますか？



3年生の真剣な眼差し

中間テストが終わっても、3年生は今週また次のテスト(実力テスト)に取り組んでいます。受験生は上記の①～③を繰り返しながら、本物の学力を自分に定着させていくのです。テストは「上手に利用」、「大いに活用」して自分を更に伸ばしていく…それが中学生のプロというものです！

「伸ばすなら 復習しよう ホトギス」 ～サマー 心の川柳～



集中してテストに取り組む3年生

0.03秒、距離にして30cm短縮するのに4年間かけた…

9/20(水)朝会講話…桐生祥秀日本選手初の100m9秒台！…③

講話を聞いて、たった30cm縮めるため、たった10秒間の競技のためにたくさんの時間を使い、努力をする大切さが分かりました。私は野球をやっていますが、一つのプレーを上手にするために日々練習し、時間を使っています。桐生選手が4年間記録を伸ばせないときでも常に練習をするという姿勢は素晴らしいと思います。結果が出ないときにどれだけ努力できるかが、これからの自分につながるのだと思います。(2-1)

どんなに良い結果が出なくても諦めずに練習して、たった30cmでも大事にしていくことが大切なんだと思いました。私も桐生選手のように、どんなに負けてしまっても諦めずに、シャトルの一本一本を大切にしていきたいと思いました。これから、どんなに落ち込むことがあっても諦めずに練習していき、今よりももっと強くなれるように頑張ります。(2-2)

私は、試合に負けるとすぐに落ち込んでしまい、その後の練習で思うようにできなくなってしまう日がありました。しかし、負けて落ち込んでも、それを次へ進むためのバネにして練習をしたという桐生選手の話聞いて、私も日々の練習からもっと気持ちをしっかりしようと思いました。桐生選手が9秒台を出したように、私も県大会出場を目指して頑張りたいです。(2-3)

先生方も授業力向上に取り組んでいます！

授業研究に取り組み、生徒の「学力向上」を目指して！

1学期終業式前に、「皆さんの学力向上のために…～毎日の授業を大切にしよう～」というテーマでアンケートを取りました。このねらいの一つは、生徒自身が自分の授業態度や家庭学習について振り返ることにありました。そして、ねらいのもう一つは、指導する教師自身の授業力を向上させることにあります。そのために、先生方も日々研修を積んでいます。今回は、本校で行われた研究授業等の一部についてご紹介いたします。



◆ 10/2(月)「食品安全ゼミナール」◆

・1年「技術・家庭科」

・講師 栃木県保健福祉部 岩崎 慎也 先生

専門的な立場の先生を外部講師として招き、授業をしていただきました。生徒は、手洗いの実験・実習を通して衛生面について学んだり、クイズに答えたりしながら生き生きと授業に取り組んでいました。教師の授業づくりにも参考となるものでした。

◆ 10/3(火)「芳賀地区中学校教育研究会数学部会研修会」◆

・1年3組「数学科」 ・授業者 綱川 陽允 教諭

芳賀地区の全中学校の数学の教師が集まり、学習意欲の向上を目指



した授業づくりについて研修しました。綱川先生の研究授業はもちろんですが、生徒たちの活動や発表も好評でした。その後、約40名の数学教師が研究協議し、よりよい授業づくりについて意見を交わしました。このような研修会で教師も学び、生徒の学力向上を図っています。

